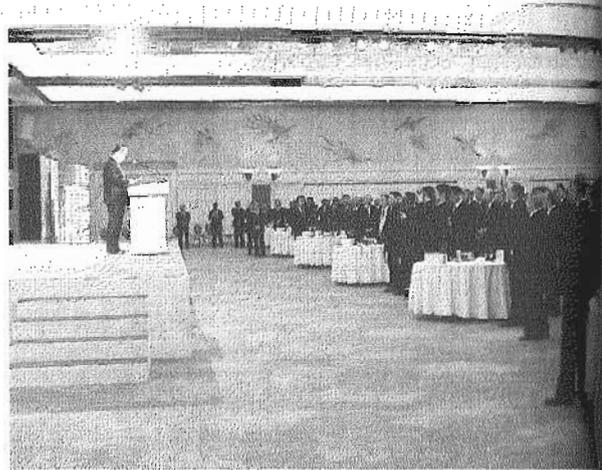


# 建設業17団体新春賀詞交歓会

## 市場小 企業努力の範囲超越



17団体が集まって開かれた交歓会  
＝東京都の東京プリンスホテルで

建設業関係17団体主催の「新春賀詞交歓会」が6日、東京都の東京プリンスホテルで開かれ、建設業関係者の約1500人が集まった。17団体を代表して挨拶し

た日本建設業団体連合会(日建連)の平島治会長は、急激な市場縮小について「血のじむようなリストラで経営再建に努めてきたが、企業努力の範囲を超えている」と、経営環境の厳しさを強調。さらに14年度補正予算案については「決定時期が

遅れ、規模も不十分」と批判し、第二、第三の追加施策が必要との考えを示した。平島会長は、厳しい経営状況に対応するため、各企業が生産性の向上に努める必要があると指摘するとともに、「業界や下請けを疲弊させるよう



熱心に作業する参加者＝栗野町の現地で

また、日本土木工業協会の梅田貞夫会長は「今年のは切り開くべき道をそれぞれの得意分野で探さなくてはならない1年になる」と自助努力の必要性を強調した。

交通副大臣は、昨年末に策定した建設業再生のための基本指針について触れ、「再生には新しいニーズに対応する創造性と柔軟性が必要になる」と話した。

### 勝栗神社で枝払い等

本山機動(本山俊彦社長、始良郡栗野町)は12月28日、同町内の勝栗神社で社員約20人が参加して、枝払いやすす払い等の奉仕作業を実施した。同神社は千年の歴史を持つ名刹だが、現在は調所保平宮司が1人で守っており、年末の大掃除もままならないと聞いた本山社長が社員に諮ったところ、全員がぜひ清掃を行いたいと希望したことから、この日の作業となった。

### 薩周が清掃活動 地域の方へ恩返し

午前7時30分、境内に集合した参加者は、まず全員で神殿に向かいかしわ手を打った。本山社長は「地元出身である我々がこうして神社を清められるのは名誉なこと。今



ごみ袋をダブルキャブに積みこむ社員ら  
＝鹿児島市鴨池1丁目の郡元電停近くで

後は年中行事として毎年実施していくので、けがのないよう、十分に注意して作業してください」と挨拶。参加者はほうきや枝切ばさみを手にも、また重機

鹿児島市)は12月28日、丁目全域を社員やアルバイト員30人で恒例の清掃

午前中一杯続けられた作業で、境内や本堂は見違えるばかりに清められた。参加者は汗を拭きながら満足そうな表情だった。調所宮司は「十数年振りの名折れとばかりに熱心に作業を進め、集めたごみはトラックに積み込んでを述べていた。

日本建築家協会(JIA)、大宇根弘司会長が、建築家資格制度の確立に向け本格的に動き出した。近畿支部の登録建築家制度をベースとして、1月に新設する五つのワーキンググループで認定基準や認定機関の在り方を検討し、5月の総会後から全国試行を開始する。試行期間は2年間。大宇根会長は「世界のどの国とも同等性を確保できるいい制度にした」と抱負を語った。

また、河野進副会長は「JIA会員だけに向けたものではない」と建築に携わるすべての人に開かれた制度とする

建築家資格をめぐるでは、平成9年11月に建築家資格制度推進委員会がJIA建築家資格制度(素案)をまとめ、具体的方針と行動計画を明確にした。その後、近畿支部が登録建築家制度、東海支部静岡地域会がプロアーキテクト制度をそれぞれ独自に実施していた。

今回、JIAが全国試行を決めた背景には、支部単位での実施が必ずしも順調に進んでいないことがあるとされた。実際、近畿支部の登録建築家制度で、登録建築家の認定を受けているのは会員の約半数と

いう。橋本修英近畿副支部長は、「支部だけの制度は意味がないと考える会員が多い」と全国試行への期待を示している。加えて、14年11月1

り組みの総括が必要と判断。支部単位での実施結果などを踏まえて集中審議を行い、12月18日の理事会で今後の方向性を固めた。理事会での議決事項

三者性のある組織として建築家登録認定機関の設置をするの3点。また、▽UIA基準による建築家資格制度が基本▽日建士連・各建築士会との十分な情報交換▽最も重要な要件は「認定基準」と「認定機関」であり、明確な第三者性を持つ公平な運営が制度自体への社会的認知と信頼性を高める一といった考え方も示した。この

### 建築家資格制度確立へ

## 5月から全国施行

J I A

上原輝雄氏(うえはら てるお)は、長年にわたる塗装業に従事、自社の発展、資質向上に努めてきた。これまでに、黄

**24時間** 迅速な作業と適正価格でまごころサービス

エレベーター・エスカレーター 保守点検専門  
立体駐車場全般

**(株)日本エレベータ**

本社 鹿児島市下荒田1-20-6 TEL (099) 257-9113  
営業所 鹿児島・熊本・大分・福岡・広島 FAX (099) 251-9418

購読料のお支払いは  
お手軽で便利な

**自動振替で**

鹿児島建設新聞  
099-227-5100へ

**上原輝雄氏が死去**

塗装業の発展に尽力

上原輝雄氏は、長年にわたる塗装業に従事、自社の発展、資質向上に努めてきた。これまでに、黄